

シンガポールと広島 交流活動

私たちの交流プログラムで
延べ718人の学生や先生が
シンガポールから広島を訪問しています



広島シンガポール協会

広島シンガポール協会 (HSA)

広島シンガポール協会は、シンガポールと広島との間の相互理解を深めることを目的として、平成7年12月に設立されました。

平成24年2月時点で約400人の個人会員と400社の企業会員がいます。広島シンガポール協会は、シンガポール国立大学日本研究学科と国立シンガポールポリテクニク校との学生交流を主たる活動としています。

学生交流プログラム

平成7年の広島シンガポール協会設立以来、これまでに705人のシンガポールの学生や教員が、1週間のホームステイや3～4週間の企業体験研修等で広島を訪問しています。
(シンガポール広島事務所による平成4年の学生交流開始時から数えると826人の学生と教員が広島を訪問。シンガポール広島事務所は、平成3年に設立され平成15年に駐在員派遣中止。)

(シンガポールとの学生交流の実績、H24.2)

(単位：人)

	シンガポール国立大学 日本研究学科				日本留 学協会	国立 シンガポール・ポリテクニク校				合 計	
	ホームステイ		企業研修	三原国際外語学 院日本語留学		ホームステイ		企業研修	当初から の計	H7年12月 広島 シンガポー ル協会 設立以来	
	学生	教員	学生	NUS	JUGAS	学生	教員	学生			教員
H4年	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	
H5年	20	-	-	-	-	-	-	10	-	30	
H6年	27	-	-	-	-	24	1	14	1	67	
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20	
H7年	-	-	-	-	-	-	-	14	1	15	15
H8年	44	1	-	-	-	20	1	12	1	79	79
H9年	21	1	-	-	-	19	1	12	-	54	54
H10年	24	1	4	-	-	20	1	12	-	62	62
H11年	17	1	5	-	-	19	1	8	-	51	51
H12年	19	1	4	-	-	20	1	10	-	55	55
H13年	21	1	7	-	-	20	1	6	-	56	56
H14年	18	1	7	-	-	20	1	3	-	50	50
H15年	19	1	-	-	-	SARSで中止		8	-	28	28
H16年	19	1	9	-	-	H18～日本語成 績優秀者招待		5	-	34	34
H17年	20	1	8	-	NTU1			-	-	30	30
H18年	20	1	9	-	-	*2	-	-	-	32	32
H19年	19	1	9	-	SP1	*2+8	1	-	-	41	41
H20年	14	1	8	1	-	*2+10	1	-	-	37	37
H21年	15	1	8	1	-	-	-	-	-	25	25
H22年	15	1	7	1	-	*2+10	1	-	-	37	37
H23年	13	1	8	1	-	-	-	-	-	23	23
H24年			8	1						9	9
合計	385	16	101	5	2	198	11	118	3	839	718
	507					330					

(注) H18からの*印は日本語成績優秀招待者

*1 企業研修

広島の企業での3-4週間の研修。広島シンガポール協会（以下「協会」）は、学生一人当たり2万円を支援。広島信用金庫は自社研修センターの宿泊施設を学生に提供。学生は自分で旅費を負担。

*2 ホームステイ

6-10日間のホームステイ体験。協会は、引率教員の交通費と宿泊費を負担し、ホームステイ先から集合場所までの交通費の不均衡調整のため、学生一人当たり1,000円を助成。学生は自分で旅費を負担。

*3 日本語成績優秀者招待

国立シンガポール・ポリテクニク校と協会が、同校で日本語を学ぶ学生のうちの成績上位2人を広島に招待するプログラムを平成18年からスタート。

*4 図書寄贈

協会は、シンガポール国立大学日本研究学科とシンガポール・ポリテクニク校に対して、広島に関する図書を寄贈している。両校では、「広島コーナー」を設置してそれらの図書を学生に利用させている。

*5 1年間の日本語研修奨学金

三原国際外語学院は、平成17年に1年間、シンガポールから日本語を学ぶ奨学金生を受け入れた。この事業の成功を受け、同外語学院と協会、広島信用金庫が共同で、平成19年度から年間97万円相当の奨学金による1年間の日本語留学制度を開始。学生は、19年度はシンガポールの日本留学生協会(JUGAS)から、20年度以降はシンガポール国立大学日本研究学科から推薦を受けている。

広島シンガポール協会の活動

広島シンガポール協会総会



広島シンガポール協会では毎年 6 月に総会を開催しています。

学生との交流会



広島シンガポール協会では、毎年 12 月にシンガポールからの学生との交流会を開催しています。

企業体験研修

シンガポールからの学生は、広島の実業に3-4週間配属されて、企業体験研修を行います。これまでに協力いただいている企業は次のとおりです。
(株)リーガロイヤルホテル、(株)広島全日空ホテル、JTB、近畿日本ツーリスト、広島信用金庫、(株)熊平製作所、(株)モルテン、広島ガス(株)、凸版印刷(株)、三菱重工(株)、デルタ工業(株)、(株)ヒロテック、(株)クラタ、中国電力(株)、バブコック日立(株)、復建調査設計(株)、(株)阿部鉄工所、オタフクソース(株)など

初代シンガポール
広島事務所長とし
て学生交流を立ち
上げた橋本康男氏
からのオリエンテ
ーション



モルテンでの企業体験研修



広島信用金庫での窓口サービスの研修



広島信用金庫の若手職員との意見交換会



ホームステイも体験

ホームステイプログラム

学生は6ー10日間のホームステイを体験します。これらの期間、日本人の家族と一緒に過ごすことによって、日本人のライフスタイルを直接体験することができます。広島シンガポール協会は、引率教員の交通費と宿泊費を負担します。

また、ホームステイ先から集合場所までの交通費の不均衡を調整するために、学生一人当たり1000円を助成しています。学生は自分で旅費を負担します。



お好み焼きづくりの体験



日本の大学生との交流

1 年間の日本語学習奨学金プログラム

三原国際外語学院は、平成17年に、三原市とシンガポールのバレスティアヒル中学校との中学生交流10周年を記念して、独自の奨学金で、シンガポールから日本語を学ぶ学生を1年間招待しました。候補者の選考には、シンガポールの日本の大学への留学経験者の会（JUGAS）の協力を得ました。

上記の事業の成功を踏まえて、三原国際外語学院と広島シンガポール協会では、協力して新たな奨学金制度を平成19年から開始しました。

広島シンガポール協会は月5万円の奨学金を提供し、三原国際外語学院は、授業料等の約半額を免除しています。平成20年度からは、シンガポール国立大学日本研究学科から候補者の推薦をいただいています。これまでの奨学生は、いずれも難関とされる日本語能力試験1級に合格しています。

奨学生は、下記のシンガポールとの中学生交流を手伝ってくれています。



〔三原市のシンガポールの中学生交流プログラム〕

このプログラムは、広島シンガポール協会の事業ではありませんが、当協会運営委員の橋本康男氏が、シンガポールのバレスティアヒル中学校と三原市の中学生との交流を、平成8年から継続して支援しています。相互に訪問団を派遣しており、これまでシンガポールから154人が三原市を訪問し、226人がシンガポールを訪問しています。三原市では、この交流のホームページを作成しています。URL: <http://www.tako.ne.jp/~friends/>



シンガポール講演会

広島シンガポール協会では、シンガポールに関する下記のような講演会を開催しています。

	講 師	演 題
H8.3.4	橋本 康男 氏	躍動するシンガポールの人と社会
	オン・ベン・ジー 氏	シンガポールの国際化
H8.5.30	稲田 純一 氏	ガーデンシティシンガポールからのメッセージ
H9.2.27	田村 慶子 教授	頭脳国家シンガポール 小国の生き残り戦略
H9.6.3	山下 彰一 教授	アジアの時代・日本の選択
H10.5.6	田辺 孝二 氏	シンガポールの未来づくり戦略
H10.6.2	鶴 登美子副校長	シンガポールポリテクニク校の学生との交流について
H11.3.5	矢延 洋泰 教授	ネイションビルディングに込めた民族混住化
H12.3.6	丸谷 浩明 氏	都市整備先進国シンガポール
H12.12.11	ルーカス・ン 氏	産業サービスセンターの活動内容について
H13.3.6	小竹 裕一 助教授	教育を通して見たシンガポールと日本
H14.3.7	田辺 孝二 氏	シンガポールのIT戦略
H14.12.5	杉野 一夫 氏	シンガポールから日本を見て思うこと
H15.3.7	野元 克彦 氏	シンガポールのバイオ研究
H16.2.4	パネディスカッション 鶴 登美子 氏ほか	シンガポールでのビジネスインターシップの体験から ー異文化社会で働くということ
H17.2.8	西原 大輔 助教授	日本人のシンガポール体験 ー幕末から戦後まで
H18.3.6	橋本 康男 氏	シンガポールの多様性活力と広島の未来 ー違いを生み出すビジョンと行動力
H19.3.6	チー・ワイ・ヨン 氏	シンガポールと日本ー経済のパートナーシップ
	稲田 純一 氏	将来を覗くーGardens by the bay
H20.3.6	ウォン・イティン さん 本庄 佐智子副校長ほか	広島に日本語を学びに来て感じたこと
H21.3.9	山本 貴之 氏	赤道直下の“先進国”シンガポールの産業と経済
H22.2.24	パネディスカッション 交流事業支援関係者	シンガポール外務大臣賞受賞記念 シンガポールとの学生交流を振り返って
H23.3.7	寺澤 義親 氏	シンガポールのユニークさとビジネス機会
H24.3.7	板谷 大世 准教授	変化するシンガポール社会と政治



立命館アジア太平洋大学小竹裕一助教授の講演(H13年3月6日)



シンガポール日本人会事務局長杉野一夫氏の講演（H14年12月5日）



株式会社ウイン社長（元・シンガポール政府開発省国立公園公団計画開発部部長）稲田純一氏の講演（H19年3月6日）

広島シンガポール協会設立 10 周年 (2005)

広島シンガポール協会では、平成17年12月14日に、駐日特命全権大使タン・チン・チョン閣下と、協会設立時の大使であられたリム・チン・ベン閣下をお迎えして、10周年の記念式典を開催しました。



シンガポール国立大学の学生からは、お祝いの歌を歌っていただきました。



国立シンガポール・ポリテクニク校のラウ学長からは、ビデオメッセージで祝辞をいただきました。

シンガポール共和国外務大臣賞受賞

広島シンガポール協会の田村鋭冶会長は、平成21年11月7日から10日まで、シンガポール政府から招待され、シンガポール外務大臣賞の栄えある最初の受賞者として、ジョージ・ヨー外務大臣から直接、外務大臣賞を受賞しました。なお、この受賞については、平成21年5月に国賓として広島を訪問されたシンガポール共和国のナザン大統領から直接知らせていただきました。



図書寄贈「広島コーナー」

広島シンガポール協会では、シンガポール国立大学日本研究学科とシンガポール・ポリテクニク校に対して、広島に関する図書の寄贈を行っています。両校では、「広島コーナー」を設置して図書を学生に利用させています。



広島シンガポール協会の田村会長を団長とする訪問団がシンガポール国立大学日本研究学科を訪問して、広島に関する図書の寄贈をしました。



広島は原爆による廃墟から平和都市へと復興しました。その経験の中から、私たちは人材の大切さを学びました。このため、平成3年8月に経済交流の推進を目的としたシンガポール広島事務所を開設した時に、シンガポールとの学生交流を通じて、相互理解を深めるとともに、シンガポールの多様性のバイタリティを学ぼうと考えたのです。